



かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



どんな方にも丁寧に久留米を案内される黒川さん

久留米市の観光案内所（ＪＲ久留米駅と西鉄久留米駅）で観光案内ガイドを平成５年から１４年間担当されている、ベテラン案内人の１人です。

「いろんな方がここにはお見えになります。久留米に初めて来た方にご案内してその事が縁で以来ハガキやお手紙をいただいている方もあります。絆との出会いは昭和３２年、１０歳のとき学芸会で絆の服を着たときですね」。以来、絆ファンとお付き合いする黒川さんご自身でも千支の絵柄を織ったり、文人絆の糸でニットのセーターを編んだり日頃から絆に親しんでいらつ

THE KASURIST 私の流儀



自分でデザイン、お姉さんに縫ってもらった 八女郡広川町在住 曾根正臣さん
長年の愛着服

絆を愛し、独自のこだわりを持つ人々をシリーズでご紹介します



久留米市諏訪野町在住 黒川絵衣子さん
絆ファッションショーで着た自作のワンピース

しゃいます。仕事柄、久留米にいらつた方が久留米にいい印象を持って帰って頂くことが私の仕事ですから、この案内所にも絆を少し置いていますが、私がよそに行つた時にも絆を着て久留米をPRしてるんですよ。

絆がとてもお似合いの曾根さん、生粋のちづこ人と思つたら東京生まれ江戸っ子とは意外ですね。「久留米かすりとの出会いは、結婚して家内の実家のこ広川町に住み始めてからですね。十五、六年前、家内の同級生で、絆織元の（有）野村織物の代表の哲也さんとの出会いからですね。家業は同じ繊維でも化学繊維を織り込みレジャーシートや土嚢に使われる製品を作つておられます。「仕事先には必ず、絆を来て行きます。もちろん目立ちますから着こなしも大事ですよ、着方によつては野暮に見えますからね。自信を持つて着ることも大事ですね。家内も絆ファンですから夫婦揃つてかすりすつとで「ね！」昨年の集いではベストドレサー賞に、また藍・愛・で逢いフェスティバルのファッションショーにも出演されました。コーラス、バイク、骨董特に柱時計は逸品」と幅広い趣味をお持ちの曾根さん、目下の目標はバイク用のジャンパーを絆で作りたいそうです。ハレーと久留米かすり：曾根さんならきつと格好いいでしょうね！

CONTENTS

1p THE KASURIST～私の流儀～

2p 久留米かすり秘話 vol.3

「木綿は久留米かすりの母」

・「かすりすとの集い」 in ハゼ並木 報告

3p 藍・愛・で逢いフェスティバル

・重要無形文化財久留米絆
「昭和の絆と平成の絆」展

4p かすりの小径 イベント案内

・絆織元登場

田中絆工房 織元 田中寛さん（筑後市）

・地場産くるめSHOP INFORMATION

久留米かすり秘話 VOL.3

『木綿は久留米かすりの母』



松枝哲哉氏「藍生庵」にある糸車(今も現役です)

木綿のルーツは、もともとインドが原産と言われています。日本にはなかつた植物で、インドから中国、朝鮮半島を経て日本に伝わったようです。「日本後記」延暦十八年(七九九年)に昆崙の船が三河に漂着して木綿の種子が日本に伝えられ、その後朝廷に献じられ、紀伊、太宰府で植栽が試みられたが定着せずに消滅したという伝承があります。綿の木はアオイ科の草木または多年生など種類が多く、アメリカ、インド、メキシコ、スペイン、地中海沿岸、中国など世界各地で栽培されていたようです。

本格的に綿織物が輸入されたのが15世紀と言われ、主に軍需品として使われ、麻より優れた素材として、戦国大名に重宝されたという記録があります。

本格的に栽培されるようになったのが江戸初期からで、元



禄の頃には国内の基幹産業になり、宮崎安貞「農業全書」(1697年元禄10年)には、木綿は、日常的に栽培され、水田への綿作を一般的にしたと記しています。木綿は亜熱帯性の植物で日本では北緯37度以北では栽培できませんでした。(東北地方ではほとんど栽培されていなかった)綿織物は戦国時代になぜ重宝されたかという点、用途が広く、陣幕、旗、船の帆、足袋、鉄砲の火縄などに使われたが、一番使われたのは雑兵の軍衣として使われた。それまでは麻、藤、科、楮等で、雑兵にとって木綿は非常に着心地の良い衣類であったことは想像にたくありません。

緋の原型は綿織物から始まったと言われています。もともと輸入品だった綿織物の中に、南方独特の美しい綿織物が含まれていて、それが江戸時代に町中で流行し、以後日本中に広まり、その後の織物の柄に大きな影響を与えたということです。ちなみに緋は舶来と同じ意味の「嶋物」を織物の柄として「嶋」が独立し、「緋」の字を当てようになったそうです。

井上伝女が久留米かすりを考案したとされる寛政の頃には、南方文化の影響を受けやすい地方の木綿織の産地では緋が発生しうる気運がすでに熟成していたようです。

参考文献／織田秀雄著「絵緋」(三溪社) 取材協力／松枝哲哉氏

かすりすとの集い in はぜ並木

REPORT

昨年11月17日(土)、スパリゾートくるめを集合場所に、はぜ並木を中心にした散策イベント「第2回かすりすとの集い」が実施されました。当日は天候にも恵まれ、お昼前には参加者約60名がスパリゾートくるめに集合しました。昼食後、会場で、緋を着た参加者の中からベストドレッサー賞を決めるコンテストがあり、投票の結果ベストドレッサー賞には小川美根子さん、曽根正臣さん、黒川絵衣子さんが決まりました。

その後、かすりすとの皆さんははぜ並木の散策に。紅葉始めた柳坂曾根のはぜを眺めながら、並木道

の先にある永勝寺に向かいました。寺の境内には銀杏の大木が何本もあり、ギンナンが無数に落ちています。また久留米でも珍しい「ケンボナシ」の木があり、その実は姿形は違うけれど、味はまさに梨の風味で、ご住職の話では中国原産で漢方薬にも使われる貴重なものとか。その後、本堂で寺澤大成住職から寺の歴史を学んだあと、裏千家久留米支部青年部のご協力によるお呈茶があり、皆さん紅葉にひたりながらのお抹茶に、秋のひとときを楽しんでいらっしゃいました。



ベストドレッサー授賞式



お抹茶とはぜをあしらったお菓子



江藤久留米市長を交えて、参加者全員でパチリ



永勝寺への道



柳坂曾根のはぜ並木

第11回 久留米かすり 藍・愛・で逢いフェスティバル

とき 平成20年3月15日(土)・16日(日)

ところ 地場産くるめ 午前10時～午後5時

無料送迎バス
運行!

JR久留米(ミスタードーナツ前)

西鉄久留米(0番のりば)

フェスティバル会場
両日ともJR久留米の始発は
AM9:30

藍・愛・で逢い広場(メイン会場)

出展 27企業

久留米かすりの反物・和装品・洋装品・小物・工芸品・裂れや手工芸材料等々総ての品々を取り揃え、特徴を競い出展いたします。



久留米絨ファッションショー

地域資源久留米かすりの伝統の価値を、“カスリ”カジュアルファッションとしてデザイナーのクリエイション・モードを情報発信いたします。

【公演】両日とも1日2回

11:30～/15:00～

【主催】久留米絨協同組合



2008 久留米絨新作発表会

本年度の新作、創作品を一堂に発表し、来場者の方々の審査で経済産業大臣賞以下受賞作品を選んでいます。

【一次審査】15日(土)

【二次審査】16日(日)

【審査発表】16日(日)

【主催】久留米絨協同組合(久留米絨組合連合会)

(出展作品:手織絨部門・機械織部門・絨二次製品部門 約150点)

審査投票及びアンケートを実施者には抽選で絨粗品進呈。



久留米絨活用製品企業コーナー

異業種企業出展コーナーでは、久留米絨靴、オリジナル「かすりスニーカー」のオーダーメイドや販売、絨トート、時計等々を出展販売いたします。

【出展企業】

(株)アサヒコーポレーション

安永企画

久留米絨ブランド化事業コーナー

インターナショナルファッションフェア(於、1月東京)へ出展新商品やデザイナー、メーカーとコラボレーションで開発した新生地、絨の浴衣、インテリア小物など新作を発表する他、情報誌「久留米絨のある生活」、「tsumugu」コミュニティ通信を配布いたします。

【出展者】

広川町商工会 久留米絨ブランド化事業実行委員会

第二回 姉妹都市 福島県郡山市 観光物産フェア

久留米市の姉妹都市の福島県郡山市、銘菓 薄皮饅頭・磐梯豆、ラーメン他、民芸品(張り人形)など特産品コーナーにおいて協賛販売を行います。

【交流出展】福島県郡山市

手織り体験教室

絨技術者の指導で、絨干支「子」の手織りをチャレンジできます。作品持ち帰り可

【体験時間】10:00～17:00

【募集】1日10名 計20名

(受付は事前予約先着順)

【教材費】有料

【申込先】久留米絨協同組合

TEL.0942-44-3701

かすりでハイ・ポーズ

久留米絨着用の方は、プロカメラマンが無料で記念撮影をいたします。

(※写真=後日 出来上がり次第送付)

絨小物制作教室

絨小物作りを指導します。参加希望者は各日受付、教材費は有料。

絨オーダーメイドコーナー

アトリエ筑後十色館デザイナーのオリジナルファッションを、オーダーできます。

久留米特産品「ふるさと市」

地域の銘菓、新鮮な野菜、特産工芸品の販売を行います。

お問い合わせ先/藍・愛・で逢いフェスティバル実行委員会 TEL.0942-44-3701

重要無形文化財久留米絨

「昭和の絨と平成の絨」展

開催期間/3月1日(土)～3月20日(祝) 10:00～17:00

会場/地場産くるめ2階 久留米絨資料館

昭和に織られた久留米かすり、そして平成の世に生まれた久留米かすり全30点。その染めと織りの絨の世界を比較しながら作家達のデザインの変遷を垣間見ることができる展覧会です。また同時開催として先日急逝されました広川町の絨作家・野村憲一郎氏を偲ぶ作品展も開催致します。

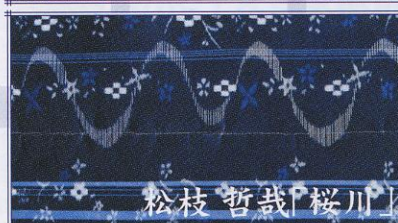


野村 憲一郎「星霜」

平成の絨



田中 寛「綾錦」



松枝 哲哉「桜川」



池田 光政「雅」

昭和の絨



松枝 哲哉「玉記」



森山 虎雄



小川内 弘

お知らせ 第二回 かすりの小怪ウォーク

とき:平成20年4月26日(土) 緋の創始者 井上传の命日ー
13:00~16:00 ※時間やイベントは都合により変更になることがあります。

集合場所:旧国武倉庫 詳細は後日ご案内いたします。

「久留米かすり」にまつわる名所も点在し、久留米市の多くの偉人たちが眠る17カ寺が連なる寺町界隈は、今も閑静な佇まいを残す「緋の似合う小怪」です。

そこで、久留米かすりの創始者「井上传」の命日である4月26日に、緋を愛する「かすりすと」で「久留米かすり」を着用。井上传が眠る徳雲寺のお墓に手を合わせ、かすりの小怪を歩きながら、歴史や風情を味わい楽しめませんか。



井上传の命日墓参 徳雲寺
お抹茶席場所 遍照院
ライブコンサート & 緋商品即売会 千栄禅寺
小学生対象ワークショップ(日吉校区) 集合・解散 日吉公民館(日吉小学校内) 場所:旧国武倉庫
主催:久留米かすりファン倶楽部「かすりすと」事務局:(財)久留米地域地場産業振興センター

かすりすとINFO

「久留米がすりのうた 井上传物語」

- とき:4月20日(日) 久留米市民会館大ホール
- 記念対談:岩崎京子×森山富子 司会:岩坂浩子
(児童文学作家) (久留米緋技術保持者)
- 音楽劇 上演 劇団PROJECTぴあ「久留米がすりのうた」
昼の部 開場 13:30 開演 14:00 夜の部 開場 17:30 開演 18:00
一般 1,500円(当日1,800円) 高校生 1,000円(当日1,200円) ※中学生以下無料
- お問い合わせ 久留米市民会館 (0942-39-2500)

ギャラリー「松枝哲哉 緋展」〜筑後の風を織る〜

- とき:4月11日(金)〜19日(土) 10:30~18:00 <4/13日(日) 休>
- ところ 銀座和光 並木館5階・和光並木ホール
東京都中央区銀座4-3-1 TEL.03-3562-2111

かすりすと投稿募集中 緋にまつわるエピソードなどお寄せ下さい。原稿用紙(400字)1枚以内

かすりすと会報誌への広告受け付けます お問い合わせ・申し込みは 緋関係の案内、売り出し、イベント等に限りです。 地場産くるめまで

緋織元登場 創くる



たなかかすりこうぼう

田中緋工房
織元 田中 寛さん
筑後市高江442-1
TEL・FAX 0942-52-4423

※工房は一般見学可、事前に御予約下さい

技術を伝承する 後継者育成中です!



筑後市高江地区にある田中緋工房は創業から60年間、久留米かすりを創つてこられました。現在、二代目織元の田中寛さんは、このたび久留米緋協同組合の理事長に就任されました。

「建築市高江地区の中でも手織り絵紬中心の田中緋工房には織り子さんが10人、お弟子さん1人、そして後継者のご子息、稔大(24才)さんがいます。以前にもお弟子さんを数人受け入れており、中でも安永誠治さん(30才)は大変熱心な方で、3年間の研修の中で、手括り、絵糸描き、織りなど緋のすべての制作過程を習得されたそうです。「最初は大変な仕事だから続くかなと思ったんですがコツコツ仕事をしていくタイプで、本当に感心しました。息子の稔大は絵を描くことが好きみたいで、これまでにない



譲り受け技術を教えるつもりです。これからはすべて次の世代に残さなくてはとの思いからです。またお客様には緋を着る楽しさと共に、見る楽しさも知ってもらいたいと筑後市で、5月と11月に工房めぐりのイベントを実施しています。緋の本当の良さや緋のできるまでを知っていただきたいですね。」と微笑む田中織元の傍らには奥様の麻実さんがしっかりとサポートしていらっしゃいました。

緋の世界を創つてくれると期待します」と嬉しそうな田中さん。技術者の高齢化は切実で業界を率いる田中さんにとつてこういう後継者が育つことこそ大切なと考えていらっしゃるようです。

これからはお客様のニーズにどう答えられるかが大切!

「緋業界は今大変な時代です。20年前に若手を中心になり井上传が考案した「十八模様」を復元しました。一度原点に戻ってもいいのではと思います。最近では括りの機械を

地場産くるめSHOP INFORMATION

筑後を彩る12の香りをお手元に



地場産くるめでは、筑後の香りをテーマに、お香の天天堂さんとの共同企画にて12の香りを製作いたしております。今回は「椿の香」「高良山の金明竹」を3月1日より発売いたします。どうぞお試し下さい。

次回発売は、5月上旬に「耳納の山の香」「筑後川の夕暮れの香」の二つの香りを予定しております。

TEL.(0942) 44-3700
FAX.(0942) 43-1020

HP. <http://www.kttnet.co.jp/jibasan>

※展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。

筑後よかもん倶楽部

- 春のよそおい展
はるいろのかすり服を入荷します!
3月中旬から展示販売
- 4月より毎月11日は
「いい日よかもんの日」開催!
地場産くるめで好評の「いい日地場産の日」をよかもん倶楽部でも実施いたします。

毎月11日は
全品11%OFF
(一部商品除く)



久留米市東町34-72(一番街)
TEL0942-80-1611 休:火曜日



ふるさとを「頑張り屋」です!

地場産くるめ

財団法人久留米地域地場産業振興センター